

第5回中長期ロードマップ小委員会

INAXの環境戦略と重点方策

2010年6月3日

株式会社INAX

サステナブル・イノベーション部

INAXの歴史とグループ会社概要



ina

INAX

- 1924年 愛知県常滑に伊奈製陶株式会社を設立
- 1985年 社名を株式会社INAXに変更
- 1996年 ベトナムにVINAX、中国に蘇州伊奈衛生潔具を設立
- 2001年 トステムと経営統合、INAXトステム・ホールディングズ(現:住生活グループ)を設立
- 2002年 伊奈(中国)投資有限公司を設立
- 2006年 現地法人INAX Italia、INAX USAを設立
- 2008年 JAXSON S.P.I. がINAXグループ入り
- 2009年 American Standard アジア・パシフィック部門を買収

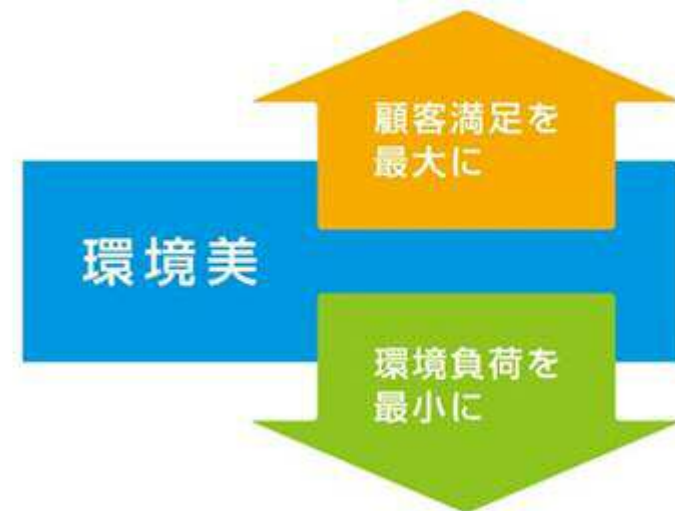
	(2009年3月期)	(2010年3月期)
連結売上高	2,947億円	2,826億円
連結営業利益	54億円	59億円

1997年に環境基本理念を制定

環境基本理念

INAXグループは、低炭素社会、循環型社会ならびに自然共生社会の構築が人類にとって最も重要な課題であることを認識し、「人と地球を考えた環境美の創造と提供」を企業活動に関わるあらゆる場面で追求することにより、真の企業市民（コーポレートシチズン）を目指します。

(1997年5月21日制定 2008年4月1日改定)



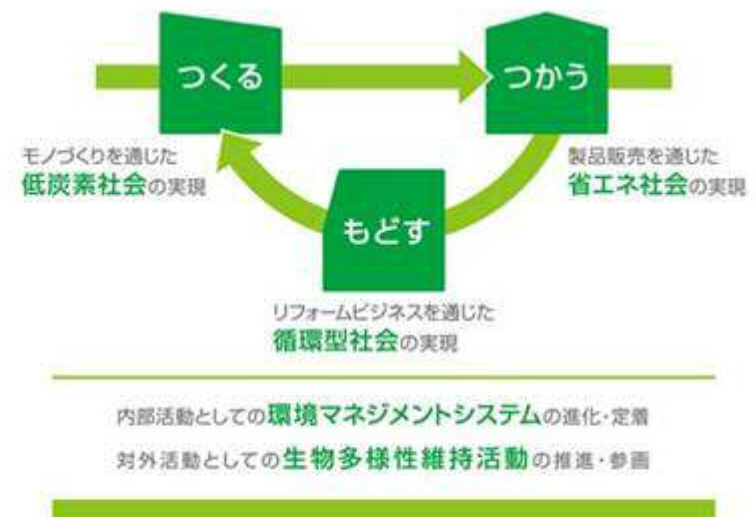
2008年4月から本格的な環境経営へ

第10次中期経営計画 環境宣言

2008年～2010年

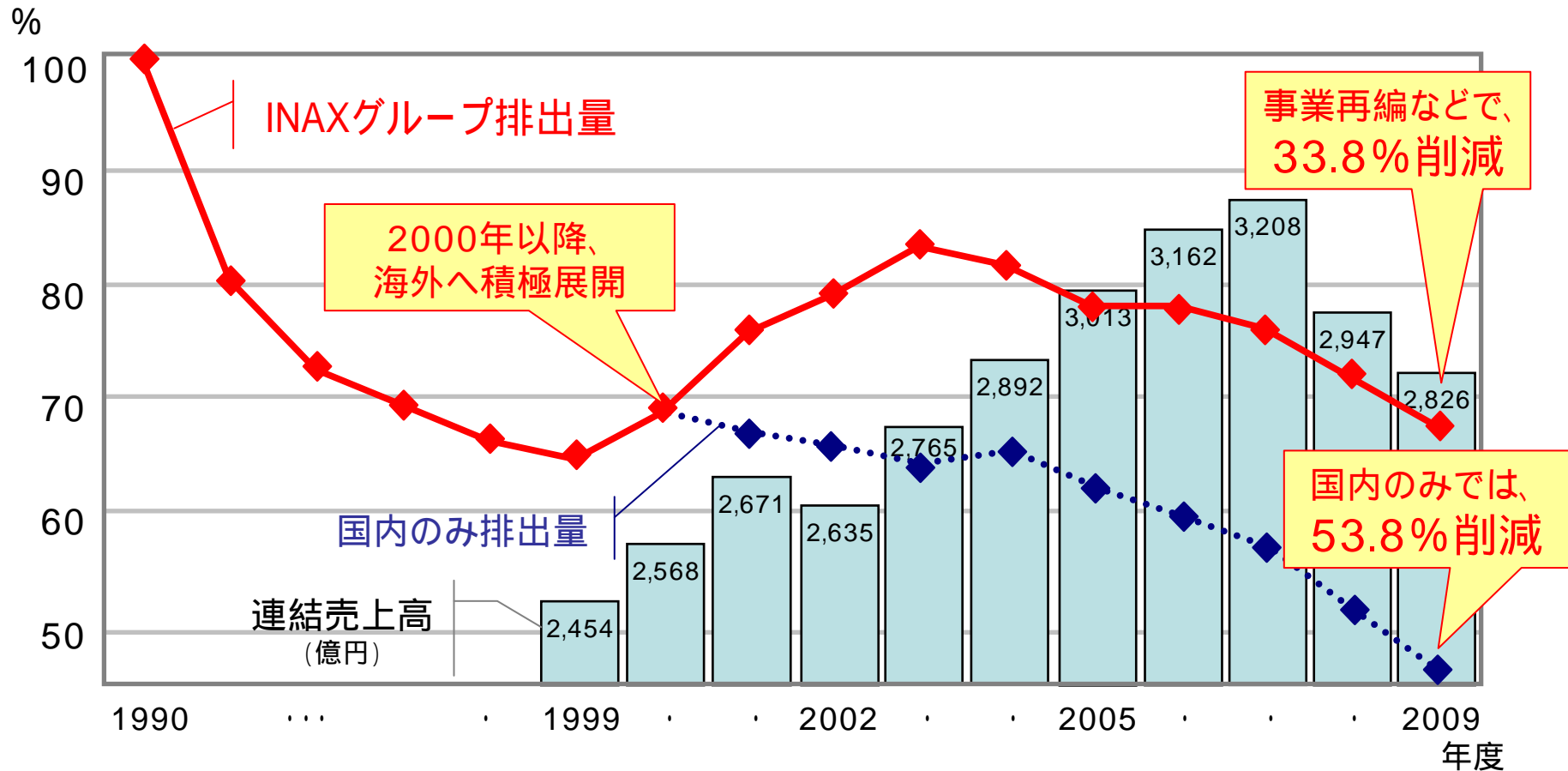
INAXは、サステナブル（持続可能）な社会の実現に向けた企業経営を本格的に進め、2050年のCO₂総排出量を（1990年比）80%削減します。

そのために「つくる」「つかう」「もどす」という枠組みで、「低炭素社会」「省エネ社会」「循環型社会」を構築していきます。



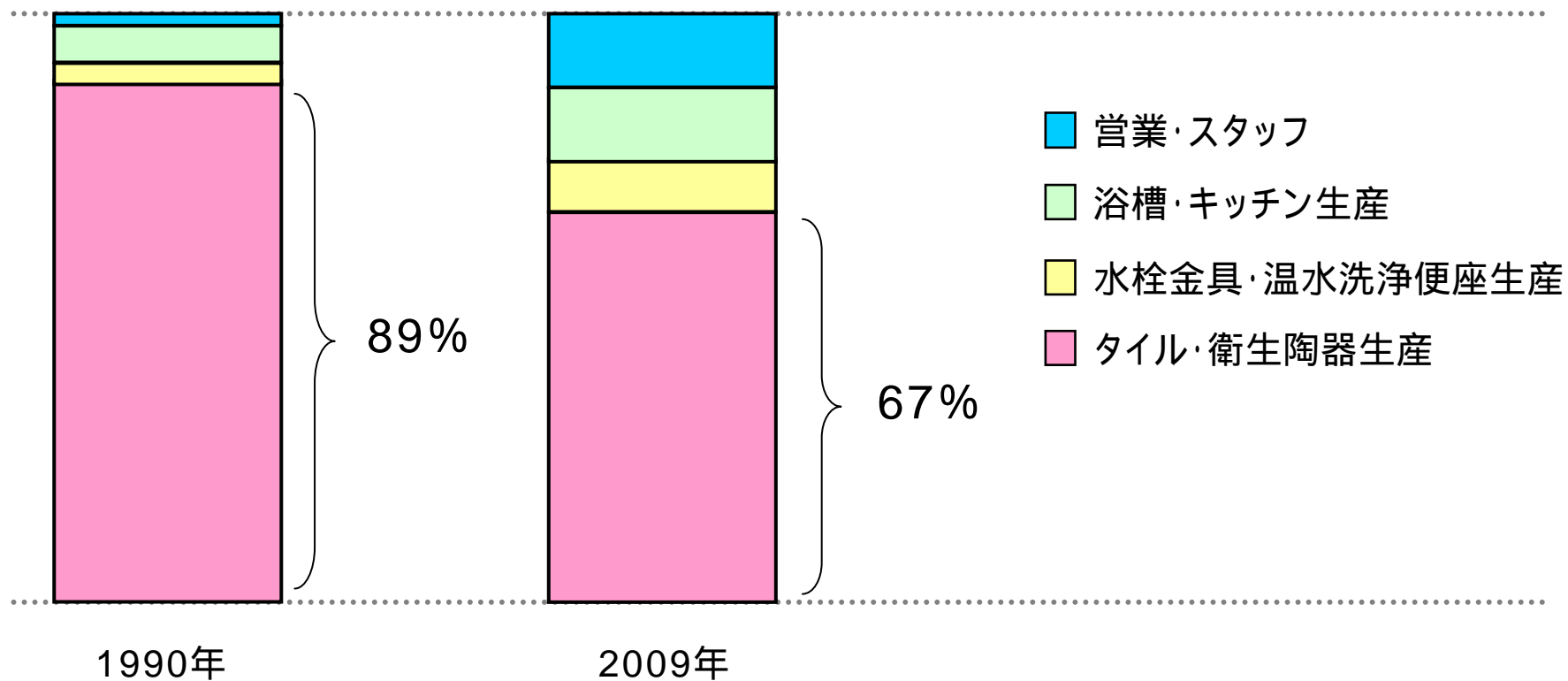
- ・ 企業の存在意義と社会性のためにも、あるべき姿に向けて変化挑戦する

INAXグループのCO₂総排出量推移 (1990年を100とする)



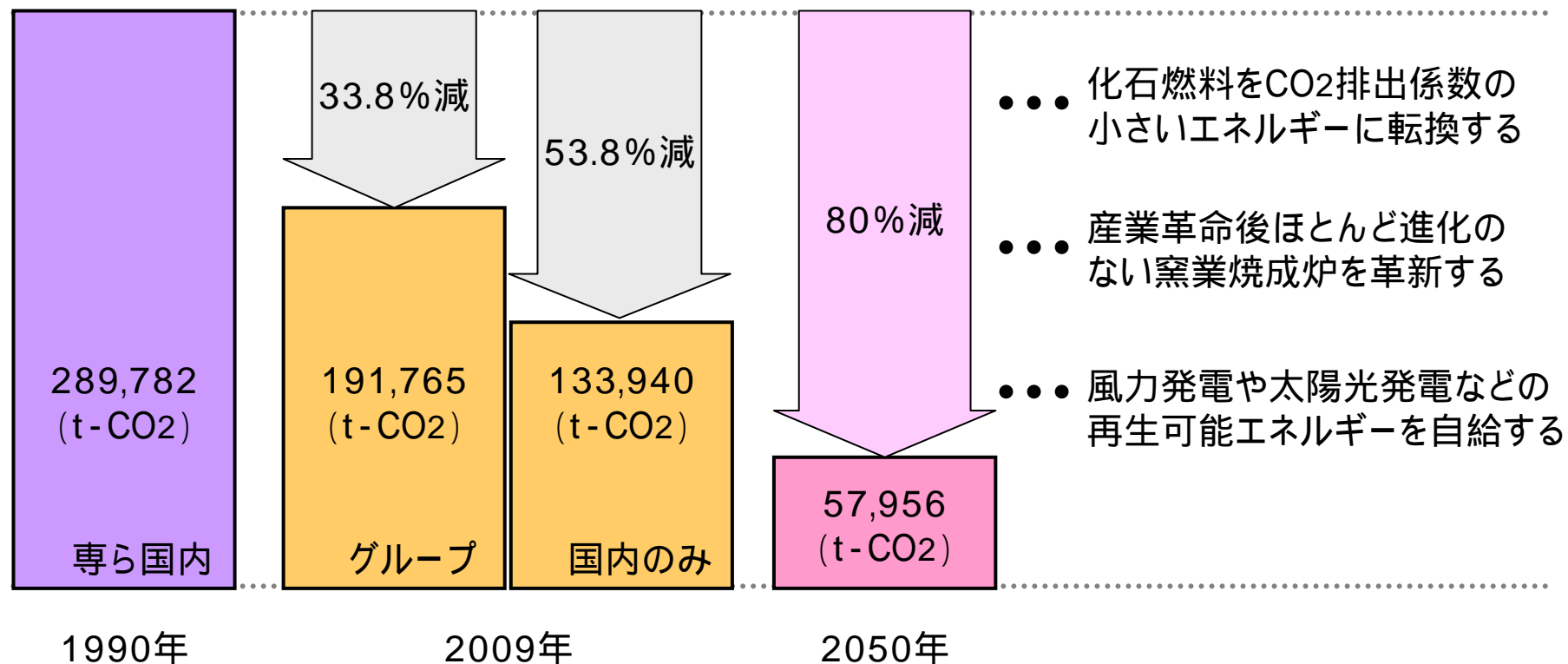
- ・ 1990年以降、国内の市場変化に伴い、タイル建材から住設事業にシフト
- ・ 2000年以降、積極的に国際展開を進め、海外の窯業関連工場が拡大

CO₂総排出量の生産種別構成比（単年を100とする）



・ タイルと衛生陶器を合わせた窯業生産拠点からのCO₂排出が全体の約7割

2050年CO₂総排出量80%削減に向けた重点施策



・「つくる」場面での窯業技術イノベーションを引き起こすことが、成否のカギ

生産工場の燃料転換・省エネ設備代替 (JVETS参加)

応募年次	第1期(2005年度)	第2期(2006年度)	第3期(2007年度)	第4期(2008年度)
導入設備	A工場の 省エネ照明代替	B工場の 燃料転換 (LPG 都市ガス)	C工場の 燃料転換 (灯油 LPG)	計7工場の 燃料転換 (LPG LNG) 省エネ空調代替 他
環境省補助金	1,438千円	10,666千円	14,464千円	130,069千円
CO ₂ 削減目標	543 t	2,982 t	1,005 t	9,785 t
CO ₂ 削減実績	1,748 t	3,341 t	957 t	(見込) 21,368 t 生産減が影響
余剰排出枠(単年)	1,205 t	359 t	-48 t	(見込) 11,583 t
保有排出枠(累積)	1,205 t	1,564 t	1,516 t	(見込) 13,099 t

- ・ 環境省国内排出量取引制度に毎年自主参加、設備投資を補填してCO₂削減
- ・ 現在の保有排出枠は 約13千t あるものの、取引の実績や予定なく貯蓄中

蓄熱型焼成炉(リジェネレイティブ炉)設備導入 (開発中)

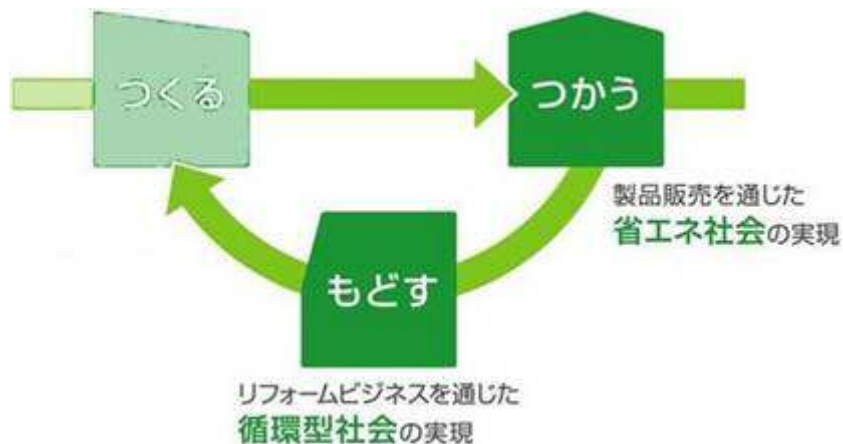


焼成段階の廃熱を蓄熱し、燃烧空気の加熱に再利用することで
省エネ率が30～40%も改善される

予定工場	設備	生産規模 (m ³)	CO ₂ 削減 (t/年)
国内工場A (タイル)	1号	16	102
	2号	16	134
	3号	11	88
国内工場B (衛生陶器)	4号	39	206
	5号	80	319
子会社C (衛生陶器)	6号	84	399
	7号	76	206
海外D (タイル)	8号	50	281
	9号	60	365
...

- ・ CO₂削減は、原価を削減し、生産性を高め、品質を良くする事業課題そのもの
- ・ 日本工業炉協会、窯業炉メーカーと連携し、設備の量産開発により導入コスト低減

家庭・業務部門へのINAXの事業貢献



製品のCO₂削減量の明示と市場置換

INAXの節水・省エネ製品使用時のCO₂削減量
を見える化し、エコリフォームを啓蒙

画期的な環境素材の研究開発

INAXならではのコア技術であるセラミックスで、
都市レベルの環境問題を解決

リフォーム廃材の再資源化の促進

INAXが産業廃棄物処理業を起業し、リフォーム
で置換した古製品の環境負荷低減を実践

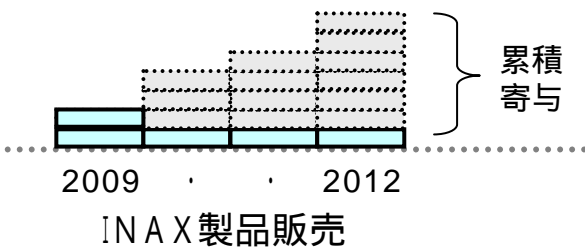
「暮らし、マイナスCO₂」による家庭部門CO₂削減寄与



日本国の削減目標
(1990年比 -6%)

家庭部門削減試算
- 7.6百万t/年

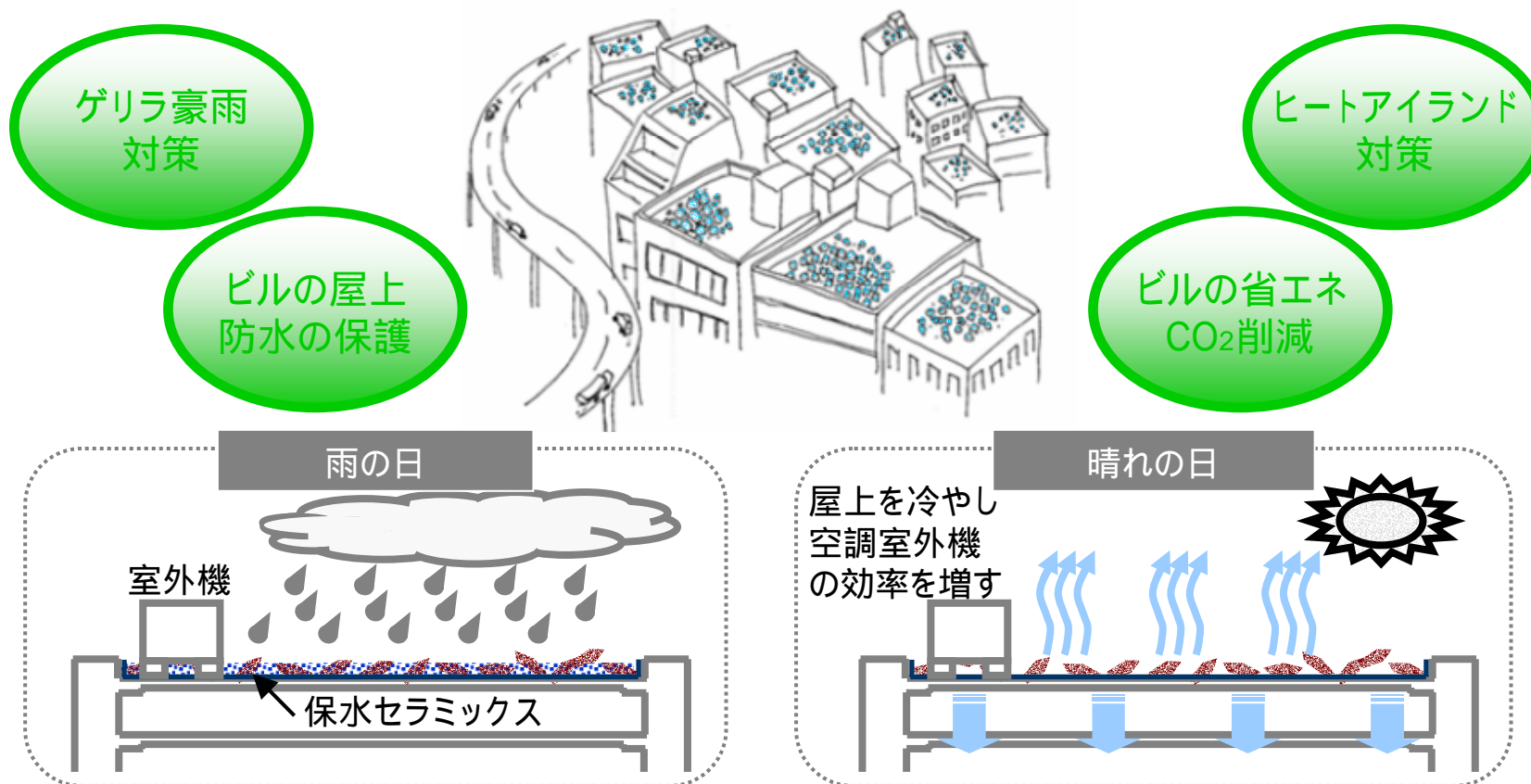
2008 . . . 2012
京都議定書目標



INAX製品販売による想定CO₂削減量

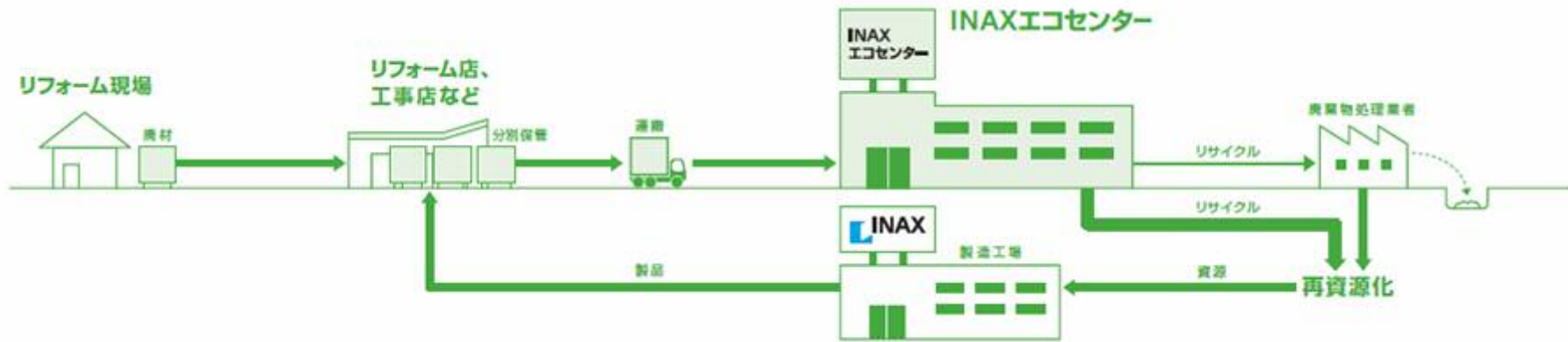
2009年度: -61,004t
(家庭部門削減試算の0.8%寄与)

都市環境問題を緩和する「保水セラミックス」 (開発中)



- ・ 保水セラミックスが雨水を一旦貯留、数日間かけて蒸発するときに気化熱を奪う
- ・ 産官学共同で有識者委員会を発足、「チーム水・日本」の行動チームに登録

リフォーム廃材の再資源化を促進する「エコセンター」 (展開中)



素材の知識で徹底分別



メーカーの技能で徹底分解

	INAX エコセンター	一般の 産廃業者
分別品種	50品種以上	約30品種
マテリアル リサイクル 率	90%以上	約50% ~ 60%

- ・ 愛知県で2007年から本格的に開始、いよいよ首都圏でも2010年開業予定



For Precious Life